

NLE Yokohama		Sakura6 Plus 取り扱い説明書-設定ツール編	Technical Cataloge	
March 1, 2010			T 001 291 J	
CS SK	Ver. 03		Page	1 / 30

NLE

YOKOHAMA JAPAN

Nippon Lifts Engineering Inc.

遠隔監視装置
Sakura6 Plus

設定ツール

改版履歴(1/1)

Version	日付	作者	項目
p0	2010/03/01	SK	Sakura6 Plus Setting Tools pre release
00	2010/04/01	SK	Sakura6 Plus リリース
01	2010/07/01	SK	呼称統一、一部変更
02	2010/07/07	SK	一部記載変更、文章修正
03	2010/08/01	SK	P14 追記。P18-19 将来対応記載。

目 次

機器名	項目	ページ
-	1. はじめに	6
	1.1 設定ツール	6
	1.2 構成	7
	2. 基本操作	
	2.1 操作のボタン	8
	2.2 画面の構成	9
	3. 事前作業	10
	3.1 設定ツールの起動	10
	3.2 機器の選択	10
	3.3 接続	10
主監視装置機器 (メイン モジュール)	4. メインモジュール Sakura6Plus主監視装置	11
	4.1 初期化	11
	4.2 ファームウェア情報	11
	4.3 日付時刻	11
	4.4 識別子	11
	4.5 停止階床数	12
	4.6 機器監視基板-入力ポートの極性	12
	4.7 機器監視基板-入力ポートの番号変換	13
	4.8 機器監視基板-出力ポートの設定	13
	4.9 機器監視基板-オプションセンサー	13
	4.10 設備監視基板-設備監視基板の有無	14
	4.11 設備監視基板-入力ポートの極性	14
	4.12 設備監視基板-入力ポートの番号変換	14
	4.13 通信-電話回線全般	15
	4.14 通信-オプション	15
	4.15 通信-音声通話用-通常通話電話番号	15
	4.16 通信-音声通話用-保守中通話電話番号	16
	4.17 通信-データ通信用-一般データ通信電話番号	16
	4.18 通信-データ通信用-定時発報先電話番号	16
	4.19 eVoice-音声発信	17
	4.20 eVoice-音声着信	17
	4.21 eVoice-音声通話	17
	4.22 eVoice-eVoice全般-子機毎の号機番号	18
	4.23 eAlarm-環境異常-温度	18
	4.24 eAlarm-シリアルアラーム-全般	18
	4.25 eAlarm-シリアルアラーム-シリアルアラーム 01-16	19
	4.26 eAlarm-ホートアラーム-ホートアラーム全般	19
	4.27 eAlarm-ホートアラーム-装置監視基板01-16	19
	4.28 eAlarm-ホートアラーム-装置監視基板01-16-アラーム通知	19
	4.29 eAlarm-ホートアラーム-設備監視基板ホートアラーム17-32 -アラーム通知17-32	20
	4.30 eAlarm-ホートアラーム-装置監視基板17-32	20
	4.31 eMonitoring-保守モード	21
	4.32 eMonitoring-定時発報	21

機器名	項目	ページ
	4.33 eControl-接点出力ON時間	21
	4.34 eControl-接点出力制御	22
従監視装置機器 (マルチプレックス モジュール)	5. Sakura6Plus 従監視装置 (多局用)	23
	5.1 初期化	23
	5.2 ファームウェア情報	23
	5.3 日付時刻	23
	5.4 識別子	23
	5.5 停止階数	23
	5.6 ハードウェア-機器監視基板-入力ポートの極性	23
	5.7 ハードウェア-機器監視基板-入力ポート番号変換	24
	5.8 ハードウェア-機器監視基板-出力ポートの設定	24
	5.9 ハードウェア-機器監視基板-オプションセンサー-温度センサー	24
	5.10 ハードウェア-設備監視基板-設備監視基板の有無	24
	5.11 ハードウェア-設備監視基板-入力ポートの極性	25
	5.12 ハードウェア-設備監視基板-入力ポート番号変換	25
	5.13 eAlarm-環境異常-温度	26
	5.14 eAlarm-シリアルアラーム-全般	26
	5.15 eAlarm-シリアルアラーム-シリアルアラーム01～64	26
	5.16 eAlarm-ホートアラーム-ホートアラーム全般	26
	5.17 eAlarm-装置監視基板ホート(1-16)-アラーム通知	27
	5.18 eAlarm-装置監視基板ホート(1-16)-ホートアラーム01～16	27
	5.19 eAlarm-設備監視基板ホートアラーム(17-32)-アラーム通知	27
	5.20 eAlarm-設備監視基板ホートアラーム(17-32)- ホートアラーム17-32	27
	5.21 eMonitoring-保守モード	28
	5.22 eMonitoring-定時発報	28
	5.23 eControl-接点出力ON時間	28
	5.24 eControl-接点出力制御	28
従監視装置機器 (ビルディング オプション)	6. Sakura6Plus 従監視装置 (設備用)	29
	6.1 初期化	29
	6.2 ファームウェア情報	29
-	7. 困った時は……	30

安全に関する表示について

・本製品を安全に正しくお使いいただくために、注意事項を次のような表示と図記号で表しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守って下さい。

・また、別資料「T001 187J NLE製品 取扱い説明書-安全のしおり」も併せてお読み下さい。

・表示と意味は次のとおりです。



危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1. はじめに

1.1 設定ツール

本説明書は Sakura6 Plus の設定方法について述べたものです。

一般的使用方法については、下記の資料を参照願います。

T 0 0 0 7 0 1 J 遠隔端末装置 (Remote Site Manager) 設定ツール説明書 - 基本編

設定ツールを接続した構成図を下記に示します。設定用のパソコン (PC) 及び設定ケーブルをご用意下さい。

パソコンの仕様は下記OSがインストールされたものをお奨めします。同じOSがインストールされたパソコンで設定されることをお奨めいたします。

Sakura6Plus

メインモジュール

マルチプレックスモジュール

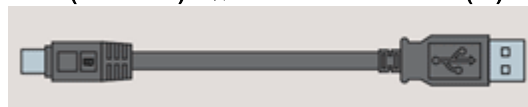
ビルディングオプションモジュール



CN2コネクタへ接続

USB(mini-B)オス

USB(A)オス



USB2.0ケーブル



PC

設定ケーブル

USB2.0ケーブル(A:ミニBタイプ)
ELECOM社製
USB-FSM518 相当

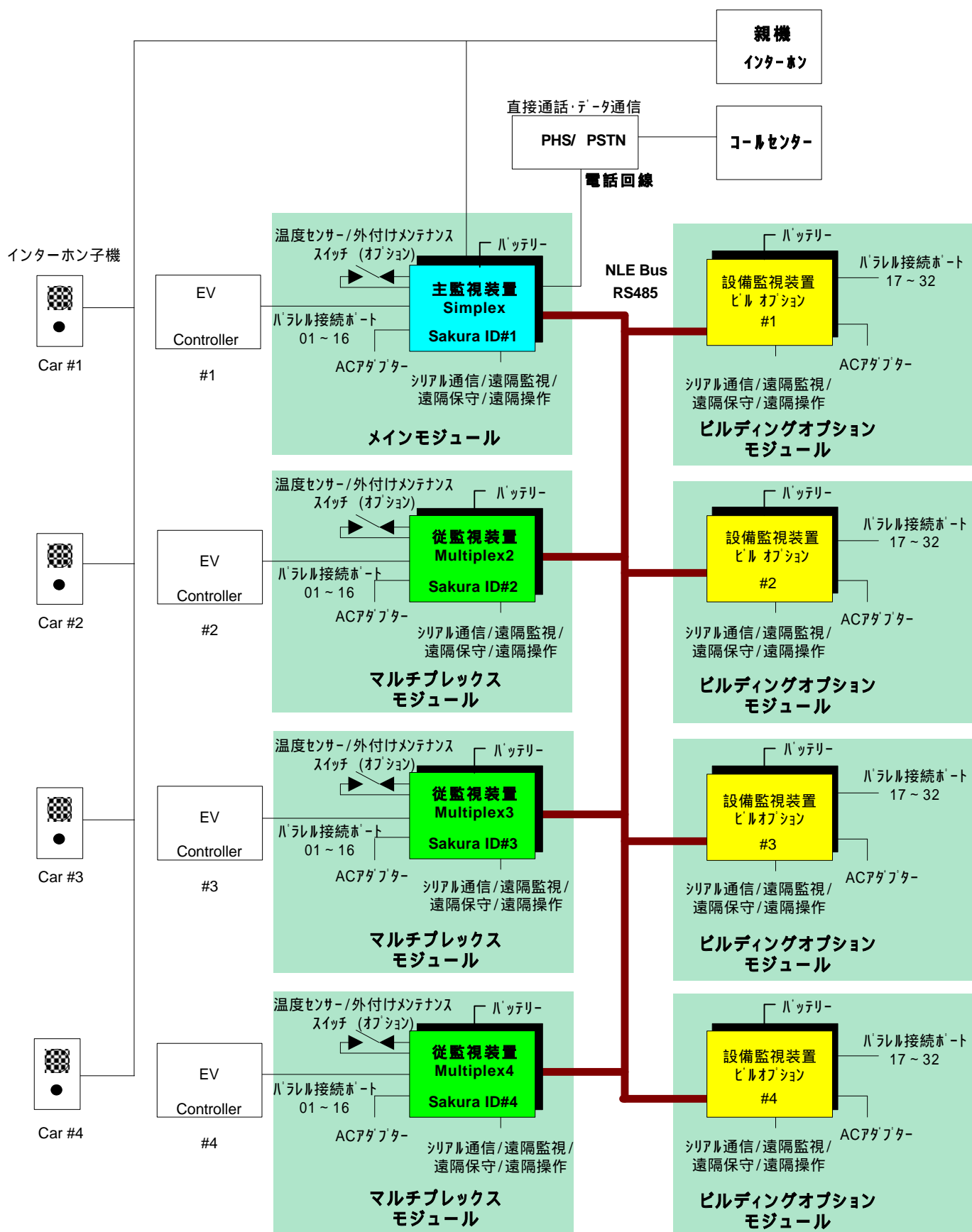
設定ケーブルはお客様にて量販電気店にてご購入下さい。

【動作】

- 1) Windows 2000
- 2) Windows XP Home Edition
- 3) Windows XP Professional
- 4) Windows Vista

1.2 構成

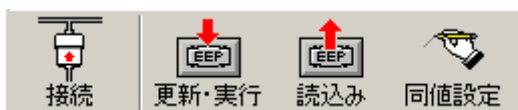
本説明書は Sakura6 Plus の基板構成について述べたものです。
各基板名称を参考にパラメータ設定を行って下さい。



2. 基本操作

2.1 操作作用のボタン

未接続時のボタン



接続中時のボタン



a. 通信ポート接続/切断



通信 (COMM)ポートを接続し端末装置とPC間の通信を開始します。

正常終了すると画面左下の接続状態が”切断”から”接続”に変わります。



通信 (COMM)ポートを切断し端末装置とPC間の通信を終了します。

正常終了すると画面左下の接続状態が”接続”から”切断”に変わります。

b. 値の設定



項目の内容を変更(入力)後、本ボタンをクリックすることで端末装置内の内容を更新します。

項目の内容を変更(入力)後、本ボタンをクリックしないで別の項目を選択したり読み込みを行うと、変更(入力)した値は破棄されます。

c. 値の読み



現在選択中の項目の端末装置内の内容を読み込んで表示します。

d. 同じ値の設定



設定項目内で、項目数が複数ある場合、このボタンをクリックすると1番目に入力されている値が2番目以降の欄に複写されます。

「更新・実行」ボタンをクリックしないかぎり端末装置に反映されません。

e. 値のセーブ



設定したすべての値をファイルへセーブします。

f. 値のロード

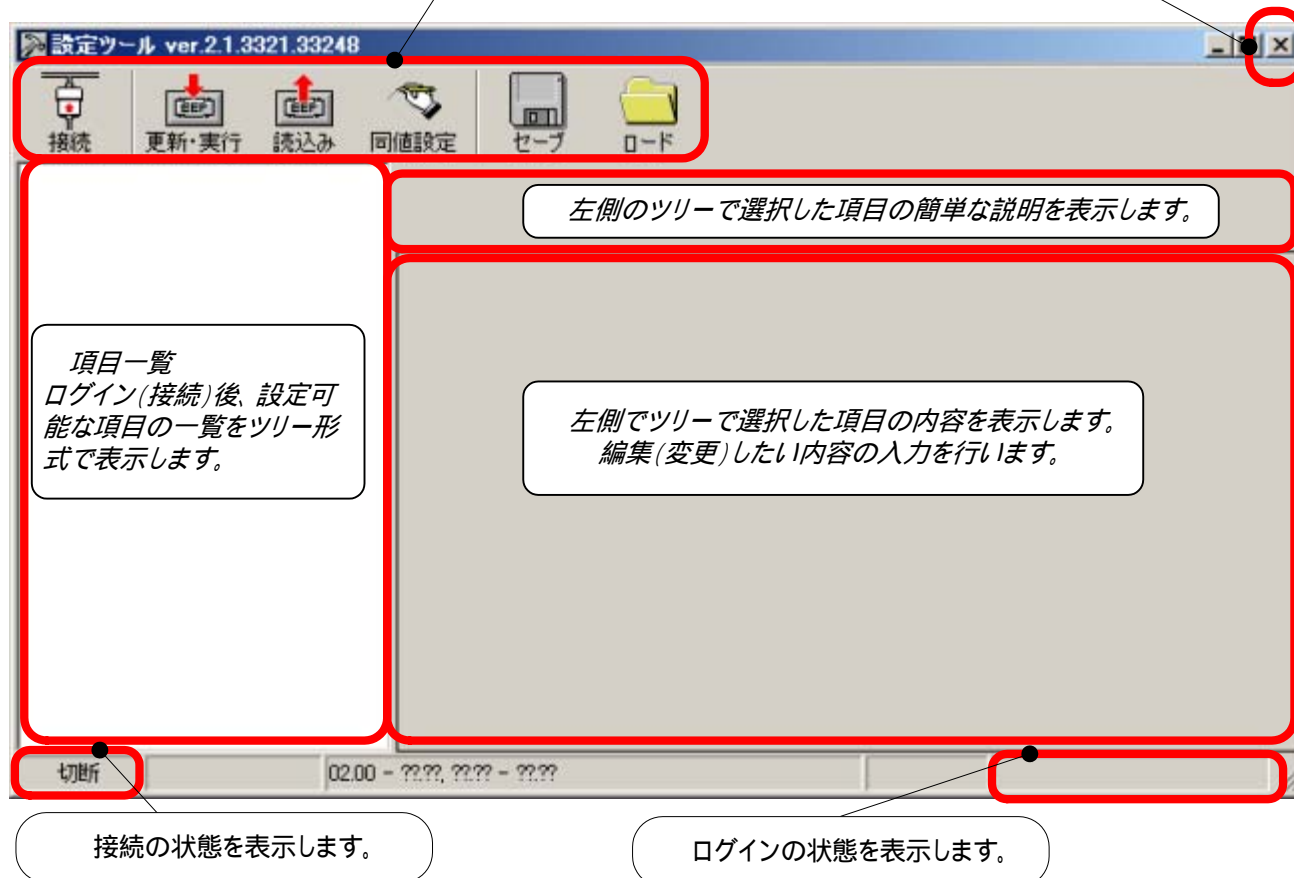


ファイルからパラメータを読み込みします。

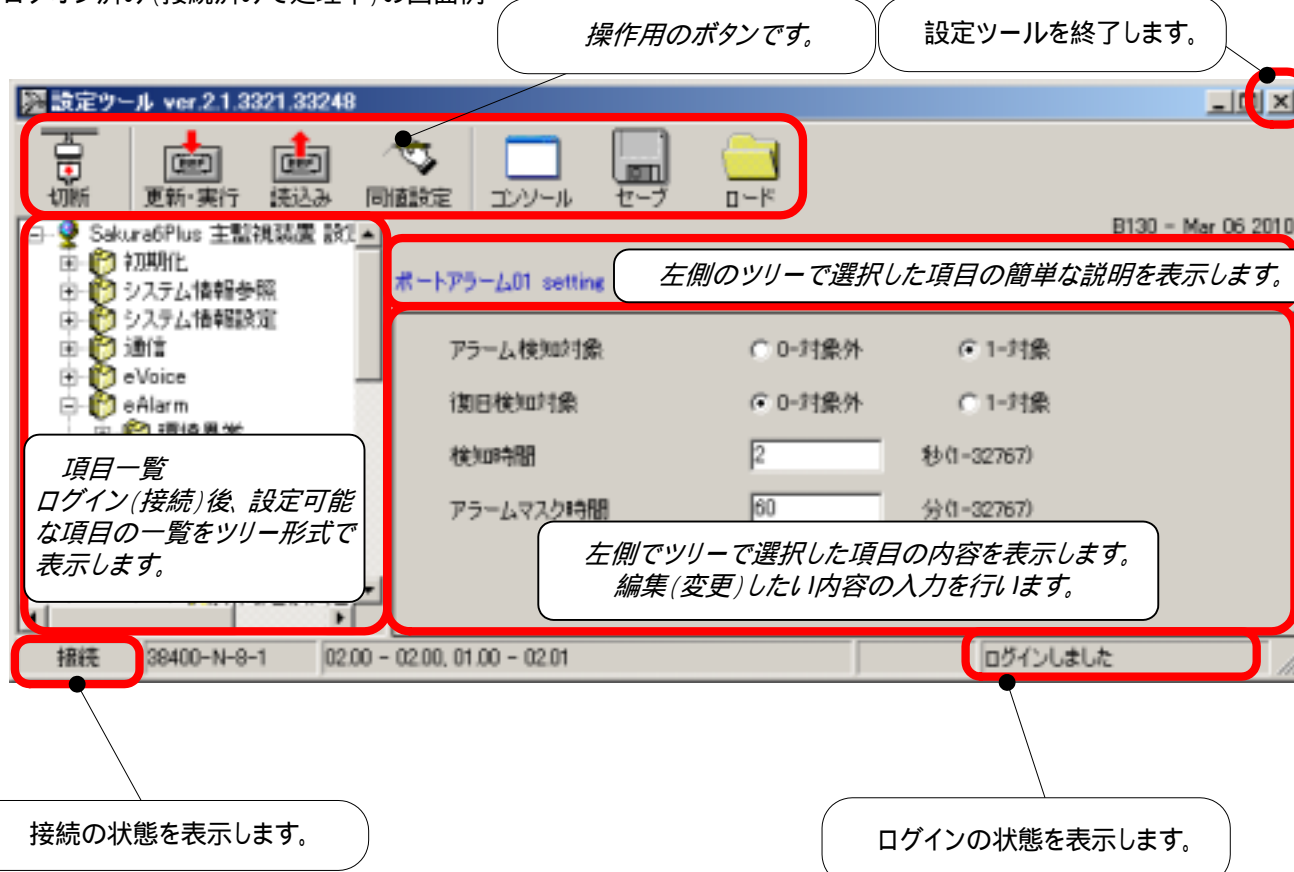
ロードのみで、「更新・実行」ボタンをクリックしないかぎり端末装置に反映されません。

2.2 画面の構成

- ・ 未接続 (起動直後 or 切断後) の画面



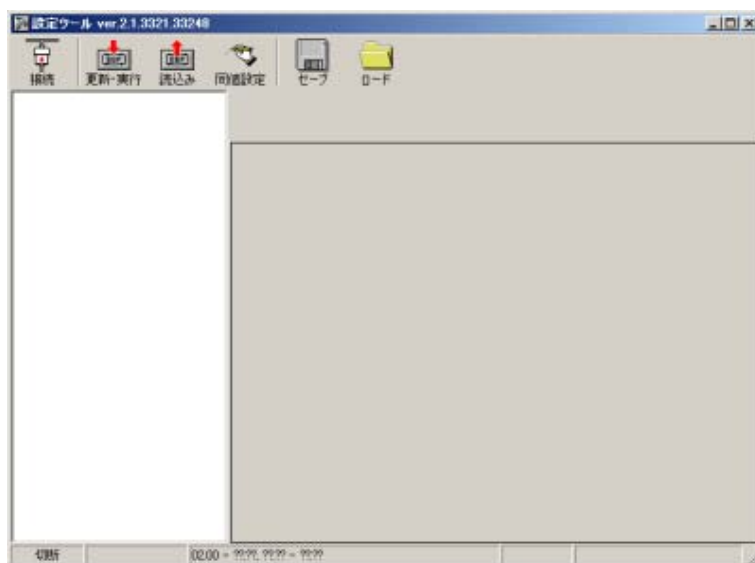
- ・ ログオン済み (接続済みで処理中) の画面例



3. 事前作業

3.1 設定ツールの起動

'スタート'、'プログラム'、'Super Sakura'、'設定ツール'をクリックしてユーティリティをスタートします。左上の接続ボタンを押して下さい。



3.2 機器の選択

設定する機器を選択した後にACアダプターの電源供給を行って下さい。自動的にCOM番号が表示されます。'接続'ボタンを押します。



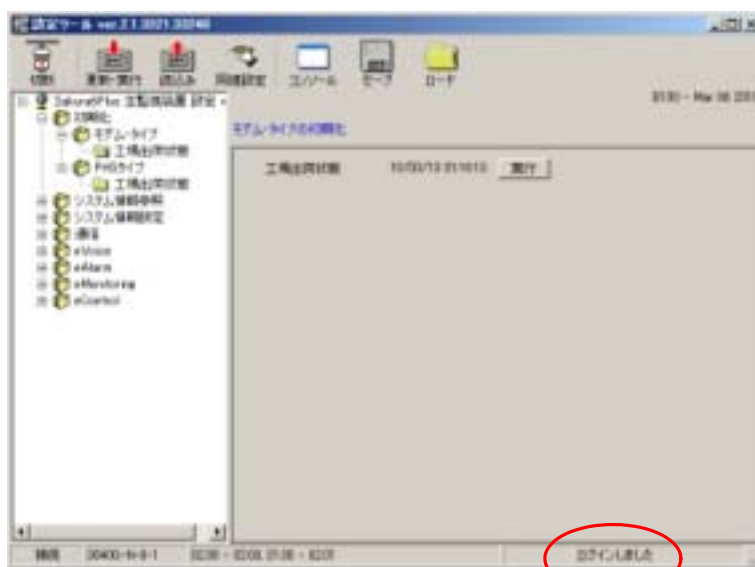
注意

このログイン画面が表示されている時にACアダプターの電源を投入下さい。
手順を間違えると、ログイン出来ません。



3.3 接続

Sakura6 Plusと設定ツールが正しく接続されると左記の様に"ログインしました"と表示され設定項目が白抜き字体 黒字体となり選択できる様になります。



注意

ログイン出来ない場合は、

通信ポートの設定を確認

機器のACアダプターを抜き差しして電源入り切りして下さい。

4. メインモジュール

Sakura6 Plus 主監視装置

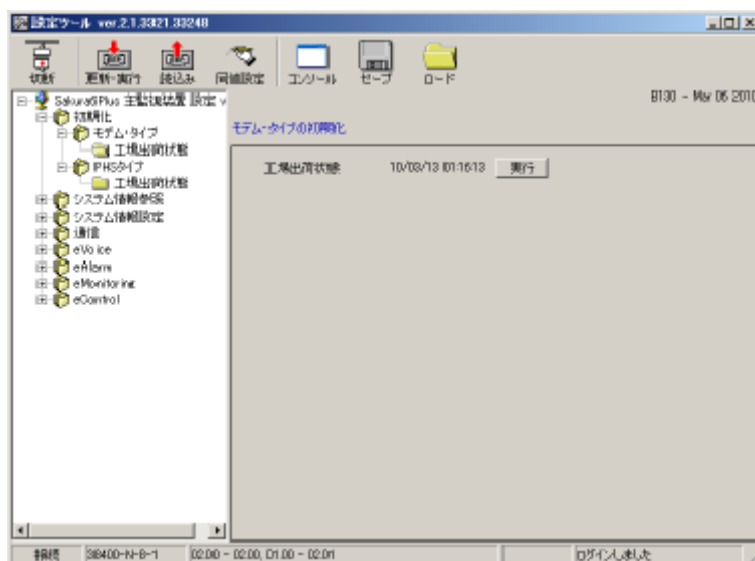
4.1 初期化

パラメータを工場出荷時へ戻す際にはモデム/
PHSタイプを選択して「実行」ボタンを選択すると
工場出荷時のパラメータに変更されます。



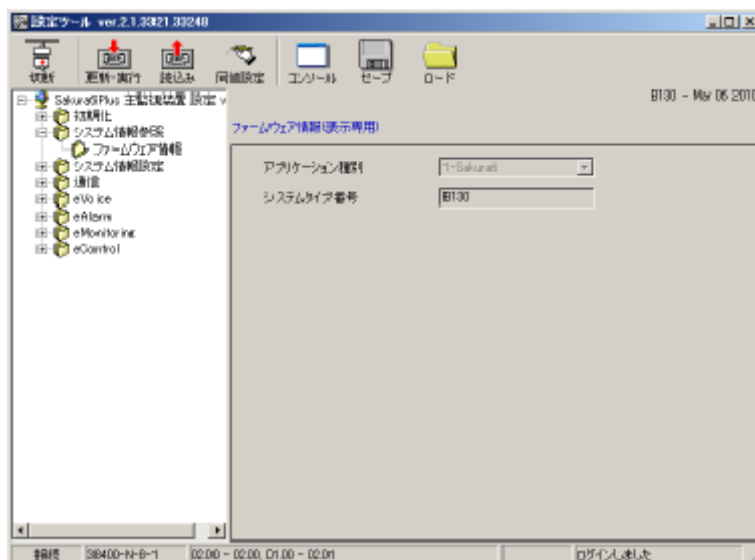
注意

モデム/PHSの選択を間違えると誤動作します。



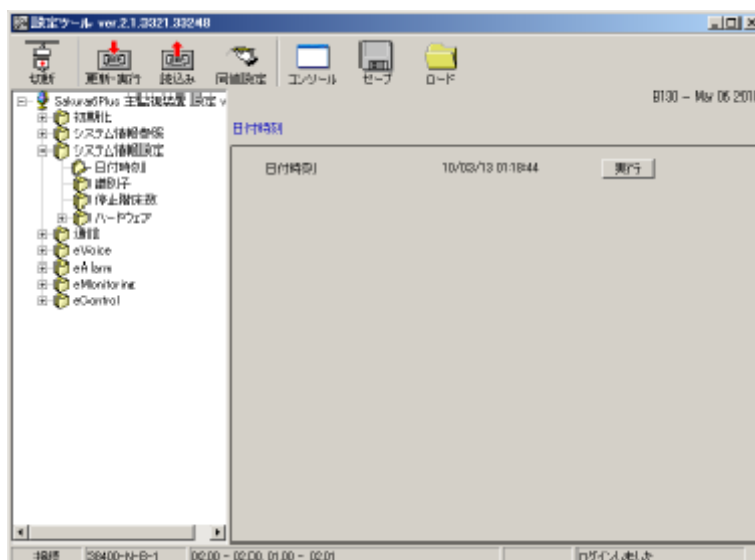
4.2 ファームウェア情報

選択するとアプリケーションの種別やシステム
タイプ番号を表示します。
(変更不可)



4.3 日付時刻

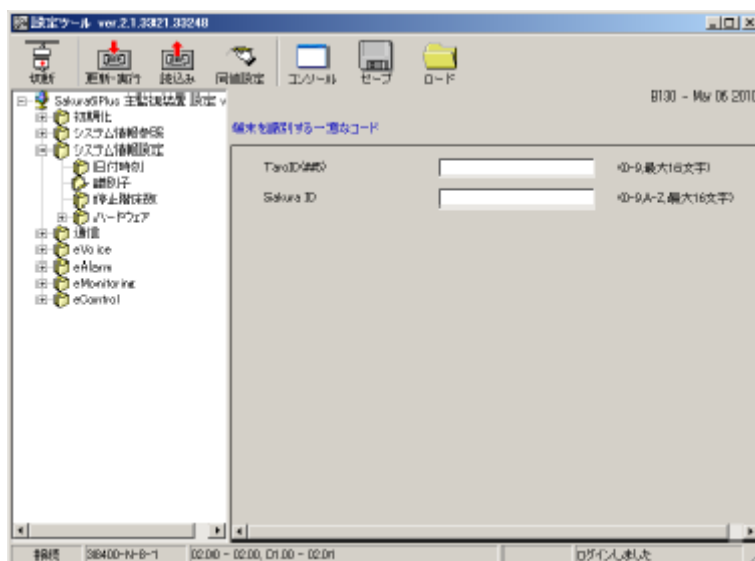
Sakura6 Plusに設定された時刻が表示されま
す。実行を押すとPCの時刻が機器へ反映され、
時刻を補正します。



4.4 識別子

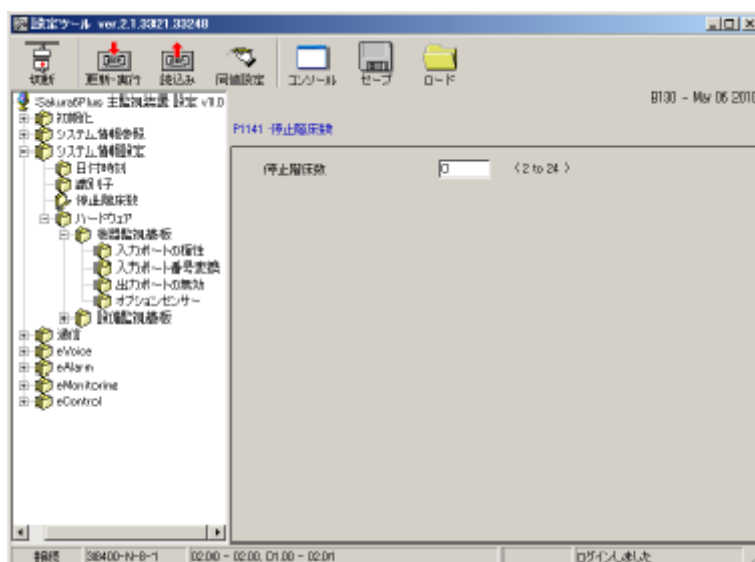
Taroid(##5) (0-9、最大16文字)(任意)
Taroidは利用者が任意に設定できる、本装置の識別番号です。非常通話発報時に自動でコールセンターへ通知します。

SakuralD (0-9、A-Z 最大16文字)(必須)
SakuralDは、利用者が任意に設定できる、本装置の識別番号です。コールセンター側受信装置のデータ登録の際に付与されるSakuralDと番号が一致する様に設定下さい。



4.5 停止階床数 (2 ~ 24階)

エレベーター停止階数を入力して下さい。

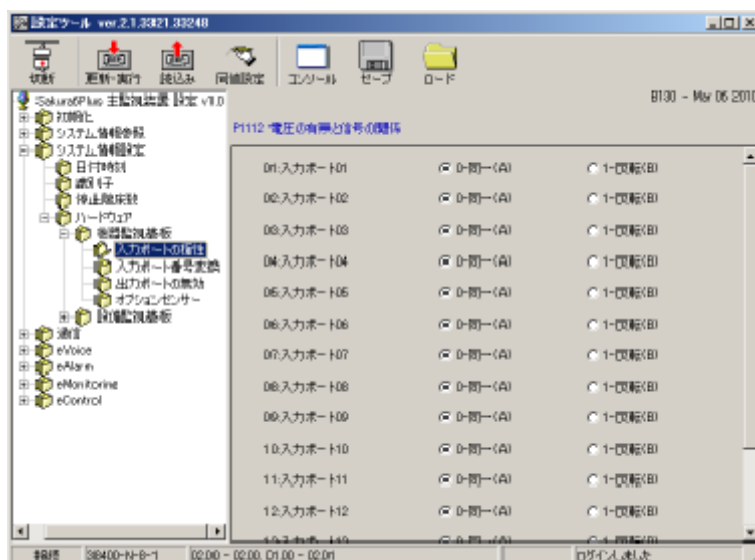


4.6 機器監視基板-入力ポートの極性

入力ポート01 ~ 16までに接続される監視信号の極性を設定します。

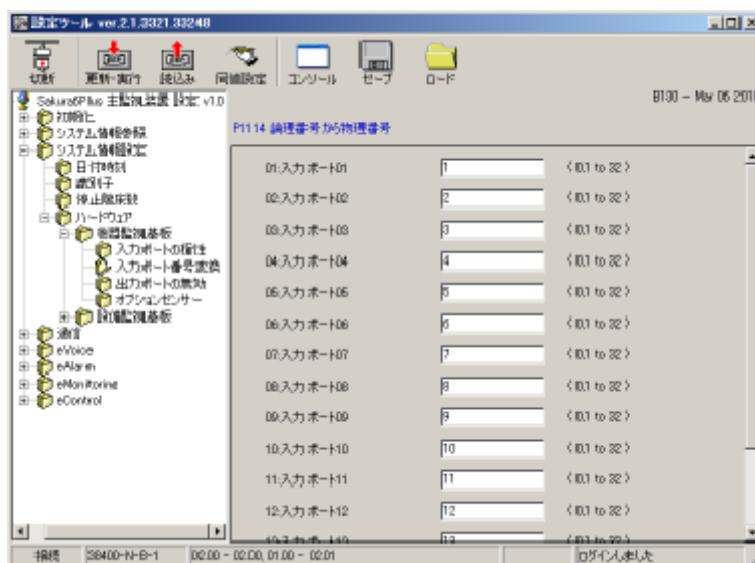
0 - 同一(A) N. O.(A接)
1 - 反転(B) N. C.(B接)

変更したら必ず、更新・実行ボタンを押して登録して下さい。



4.7 機器監視基板-入力ポート番号変換 (工場設定:01~16)

接続したポートの番号とコールセンター側に発報するアラーム番号を入れ替えることができます。



4.8 機器監視基板-出力ポートの設定 (工場設定:01~06 0-有効)

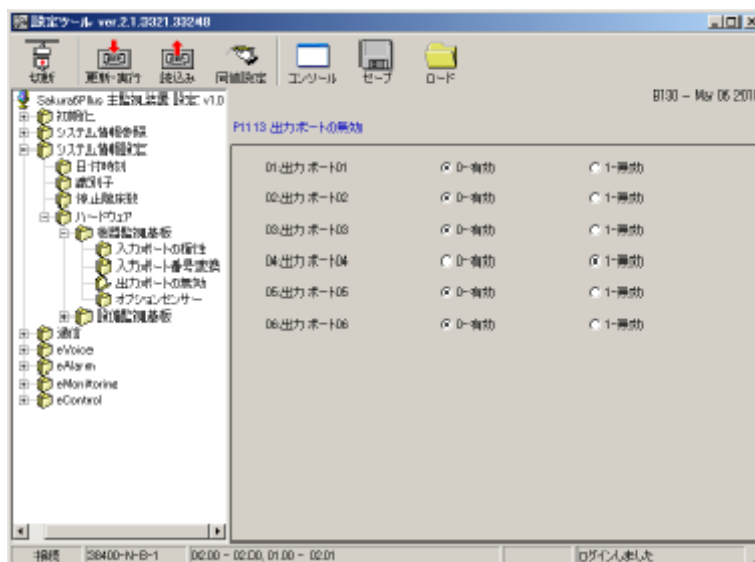
【配線接続】

出力ポート01・02

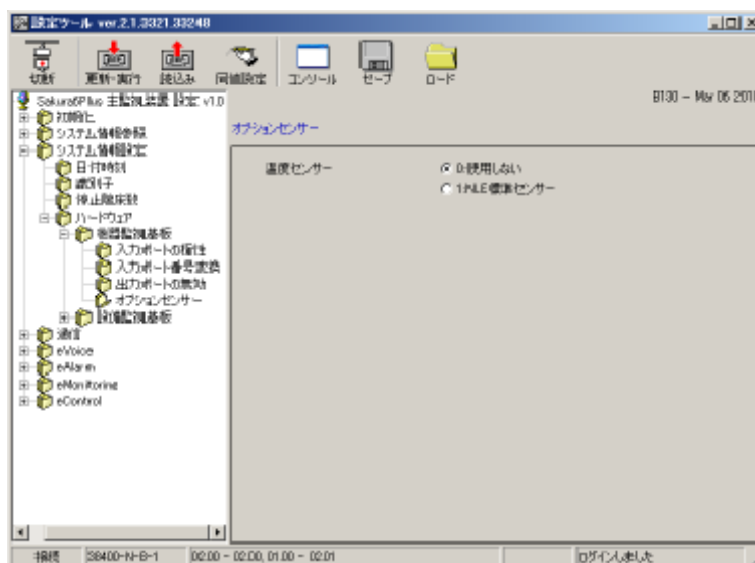
ROCSAA基板

出力ポート03・04・05・06

SAPIO基板



4.9 機器監視基板-オプションセンサー 温度センサー (工場設定:0:使用しない)

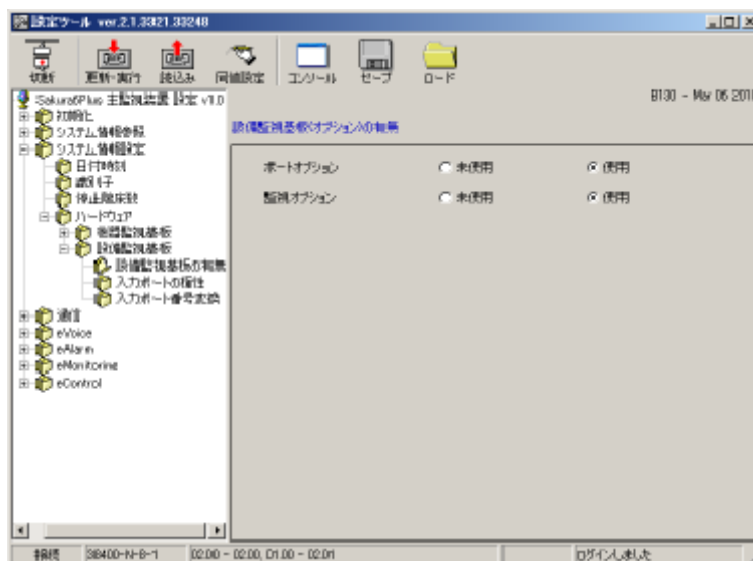


4.10 設備監視基板の有無

(工場設定: ポートオプション 使用
監視オプション 使用)

メインモジュールにビルディングオプションモジュールを接続する場合は「ポートオプション」、「監視オプション」共に使用側に設定して下さい。

ポートオプション・監視オプションのどちらか片方を使用にする設定はありません。



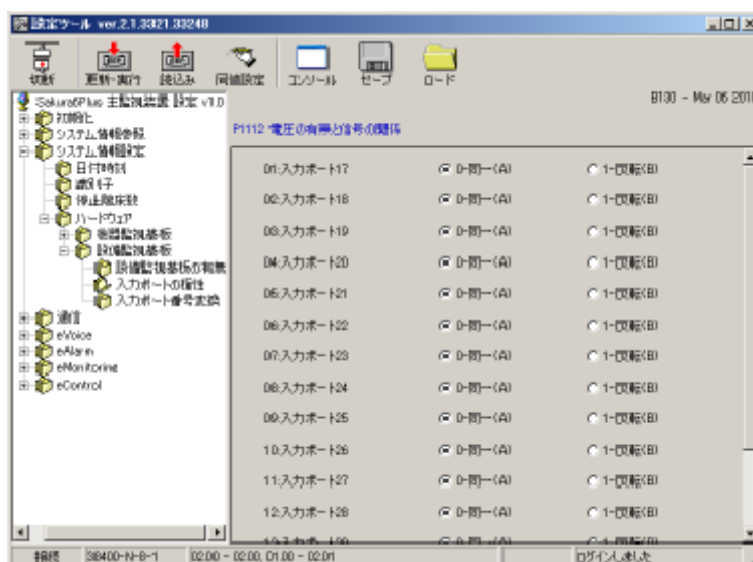
4.11 設備監視基板-入力ポートの極性

(工場設定: 17 ~ 32 全て 0-同一(A))

入力ポート17 ~ 32までに接続される監視信号の極性を設定します。

- | | |
|---------|-----------|
| 0-同一(A) | N. O.(A接) |
| 1-反転(B) | N. C.(B接) |

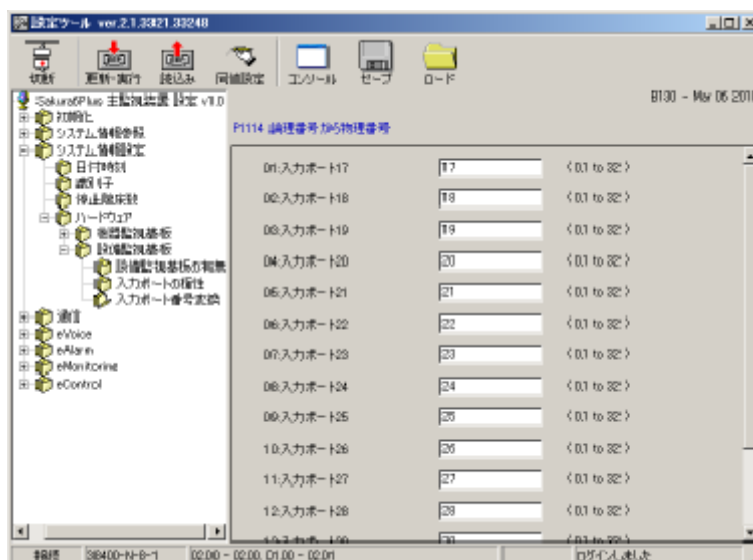
変更したら必ず、更新・実行ボタンを押して登録して下さい。



4.12 設備監視基板-入力ポートの番号変換

(工場設定: 17 ~ 32)

ビルディングオプション(設備監視基板)で接続したポートの番号とコールセンター側に発報するアラーム番号を入れ替えることができます。



4.13 通信 電話回線全般

ダイヤル種別(モデム版のみ)

PB トーン式(工場設定)

10P 10パルス

20P 20パルス

応答方式

0:音声モードで応答

1:自動判別応答(工場設定)

2:データモードで応答

3:応答しない

応答Ring

外部電話からの呼び出し回数設定
呼び出し音が設定回数値に達すると着信します。(工場設定:4回)



4.14 通信オプション

保守中の通話先指定

0-未使用(工場設定)

1-使用

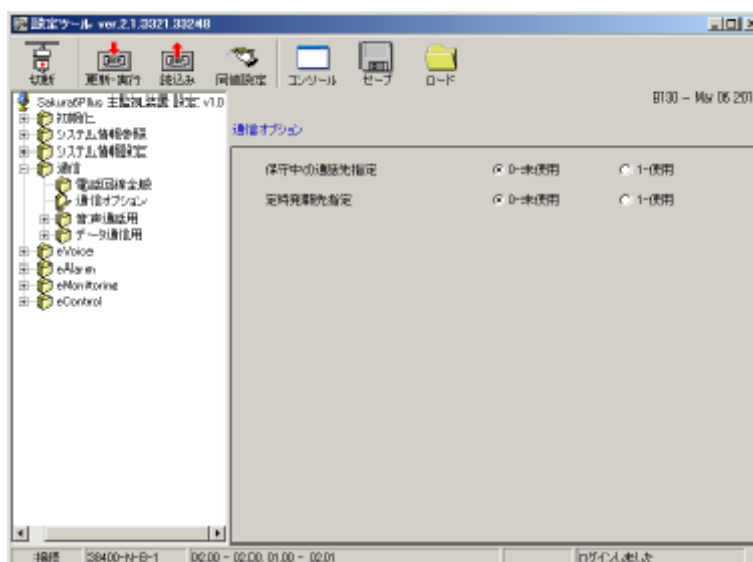
(1-使用に変更する場合は、4.16項の保守中通話電話番号を指定して下さい。)

定時発報先指定

0-未使用(工場設定)

1-使用

(1-使用に変更する場合は、4.18項の定時発報先電話番号を設定して下さい。)



4.15 通常通話電話番号

直接非常通話機能の発報先電話番号(5カ所まで登録できます。)

(工場設定:空白)

(0-9、A-Z 最大16文字)

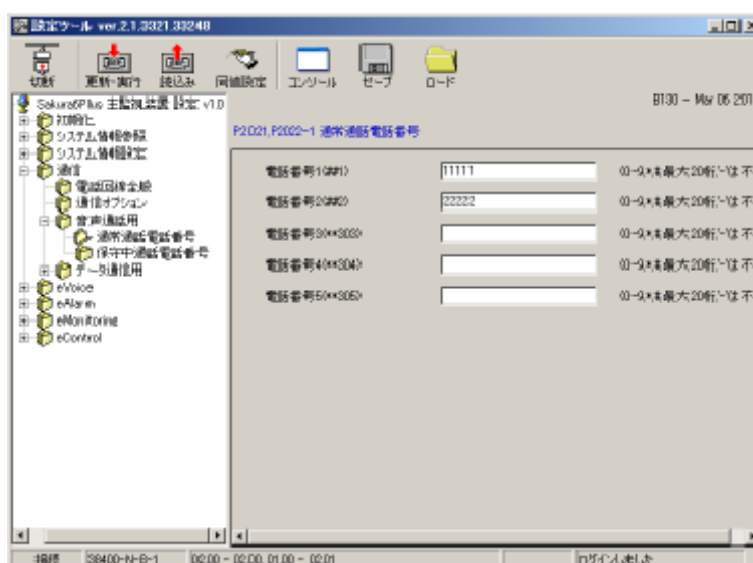
電話番号1(##1) - 発報先1番目

電話番号2(##2) - 発報先2番目

電話番号3(**303) - 発報先3番目

電話番号4(**304) - 発報先4番目

電話番号5(**305) - 発報先5番目

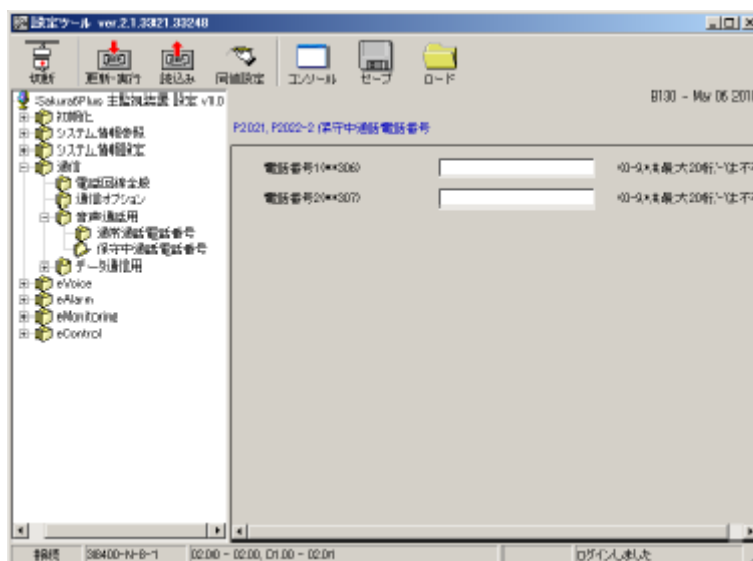


4.16 保守中通話電話番号

メンテナンススイッチがON時にかご内非常ボタンを押した際の発報先電話番号を設定します。

(工場設定: 空白)

(機能を有効にするには4.14項の保守中の通話先指定を1-使用へ変更下さい。)



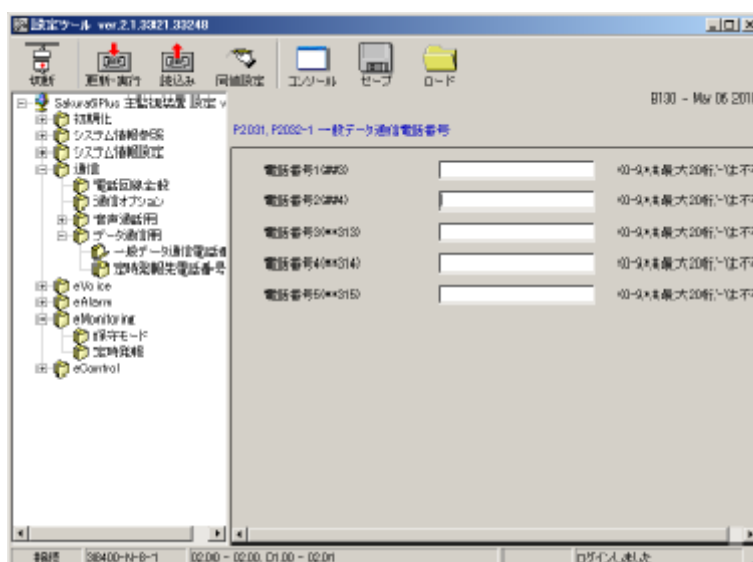
4.17 一般データ通信電話番号

非常通話機能の発報先電話番号(5ヶ所まで登録できます。

(0~9、*、# 最大20桁 "-"は不可)

(工場設定: 空白)

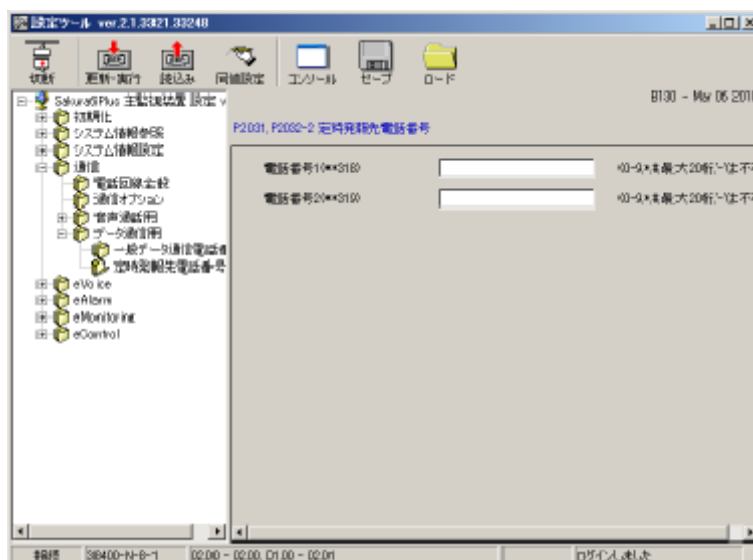
- 電話番号1(##1) - 発報先1番目
- 電話番号2(##2) - 発報先2番目
- 電話番号3(**313) - 発報先3番目
- 電話番号4(**314) - 発報先4番目
- 電話番号5(**315) - 発報先5番目



4.18 定時発報先電話番号

定時発報の際にデータ通信を行う電話番号の登録を行います。

(機能を有効にするには4.14項の定時発報先指定を1-使用へ変更下さい。)



4.19 eVoice音声発信

非常ボタン押下検知時間 かご内非常ボタンの押し下げ検知時間を設定。(工場設定2秒)

音声発信待ち時間(##6) 非常音声発信待ち時間を登録します。(工場設定6秒)

親機応答時の発信(##7-m)

##6で指定した時間内に親機が応答したら非常通話発信をしない。(工場設定: 応答しても発信する)

発信順序 インターホムアラームと音声発信の発信順番。(工場設定: データ発信後に音声発信)

子機SP制御方式(##)

非常音声アナウンス時のブザーとアナウンス制御の指定

(工場設定1: ブザー有り、アナウンス有り)

4.20 eVoice音声着信

コールセンターからの呼び出しに着信した時に0: 自動の場合、1号機に接続。

1: 手動の場合、#1~#4をコールセンターから操作し、指定した号機に接続。

2: 半自動の場合、下記の「子機接続遅延時間」が経過後1号機に接続される。

1) 子機への接続方法

- 0: 自動 (工場設定)
- 1: 手動
- 2: 半自動

2) 子機接続遅延時間

子機への接続方法が2: 半自動のみ時有効

4.21 eVoice音声通話

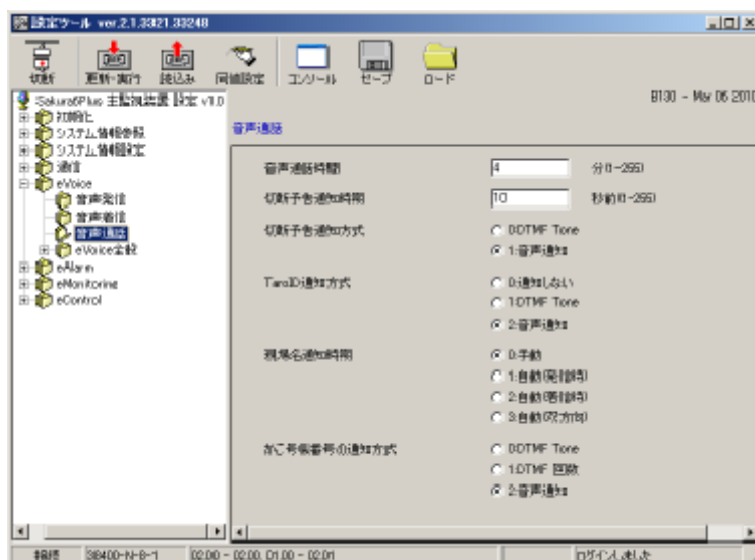
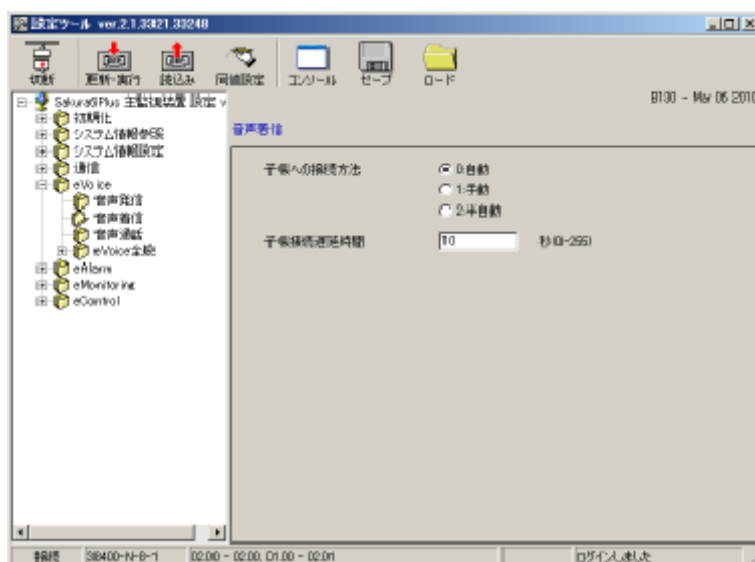
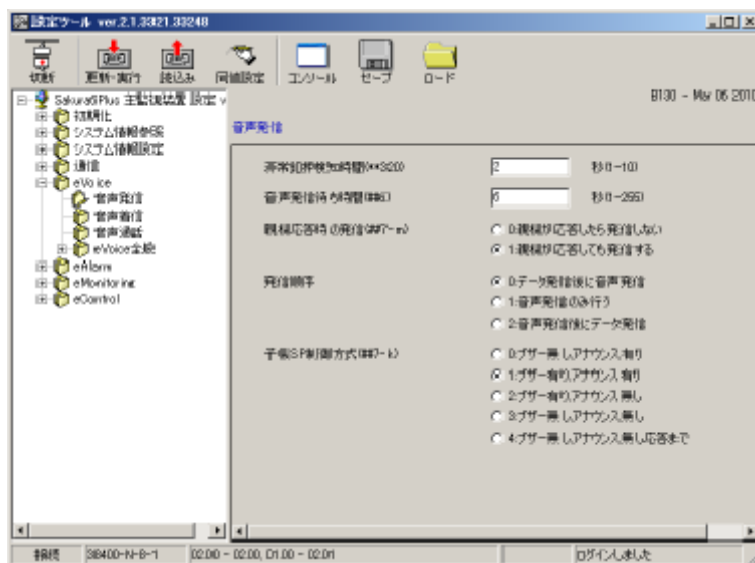
1) 音声通話時間(工場設定: 4分)

2) 切断予告通知方式 音声通話時間が終了する時の警告音 (工場設定 1: 音声通知)

3) Taro ID通知方式 ##5で設定した識別番号をトーン信号または音声アナウンスで通知 (工場設定 2: 音声通知)

4) 現場名通知時期

5) かご号機番号の通知方式



4.2.2 子機毎の号機番号

かご内からコールセンターへ発報された際に「1号機です」とアナウンスされる号機番号を指定。

(工場設定値:子機1~4: 1~4号機)

(最大設定値99まで可能。)

例えば・・・

1つの多局インターホンシステムに5台以上のエレベーターが設置されている場合、2台目のSakuraの子機1へは5号機ですとアナウンスする事も可能です。



4.2.3 eAlarm-温度

異常温度を検知する温度や検知時間を設定します。

(工場設定)

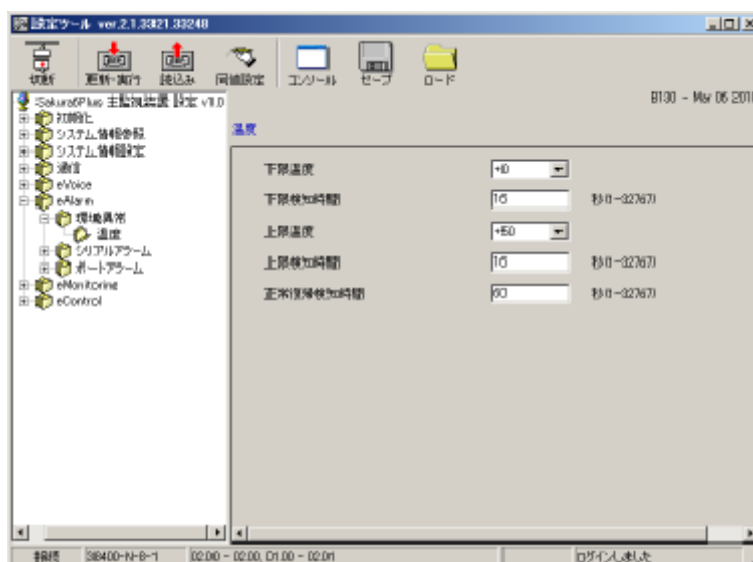
下限温度 +0

下限検知時間 16秒

上限温度 +50

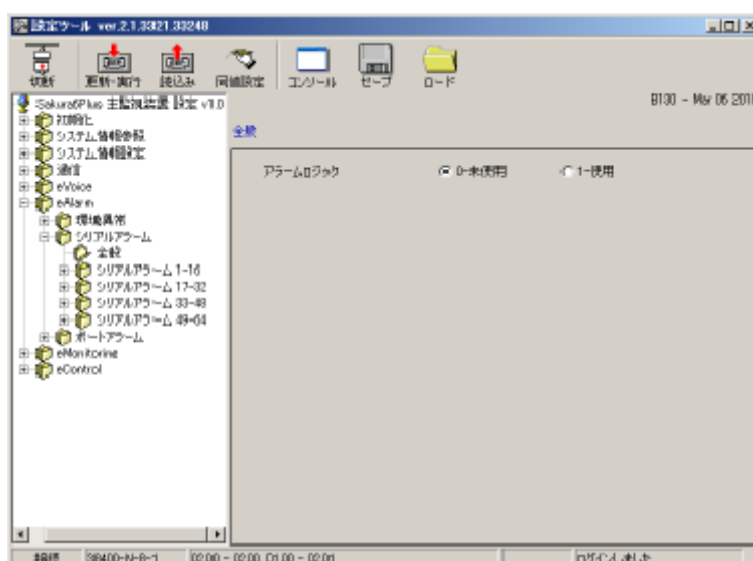
上限検知時間 16秒

正常復帰検知時間 60秒



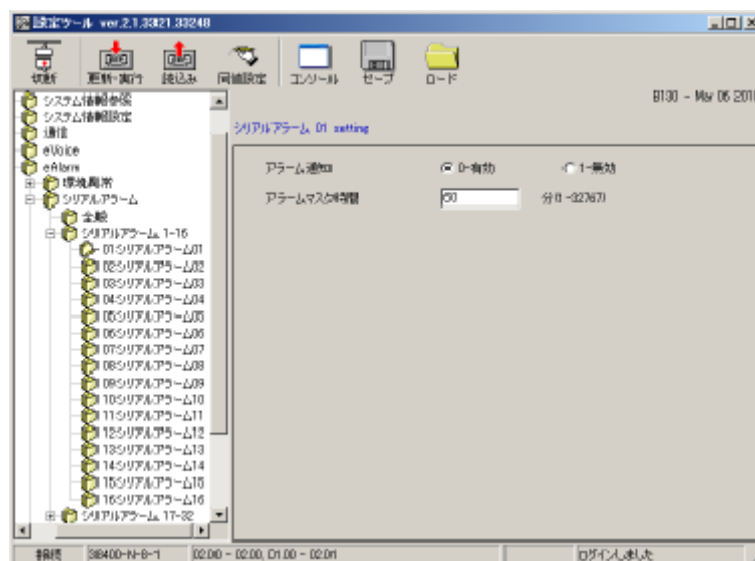
4.2.4 eAlarm-シリアルアラーム全般

アラームロジックの使用/未使用の設定を行います。(将来対応予定)



4.25 eAlarm-シリアルアラーム 01-64

シリアルアラーム01番～64番までの有効/無効の設定及びマスク時間(分)を設定します。
(将来対応予定)

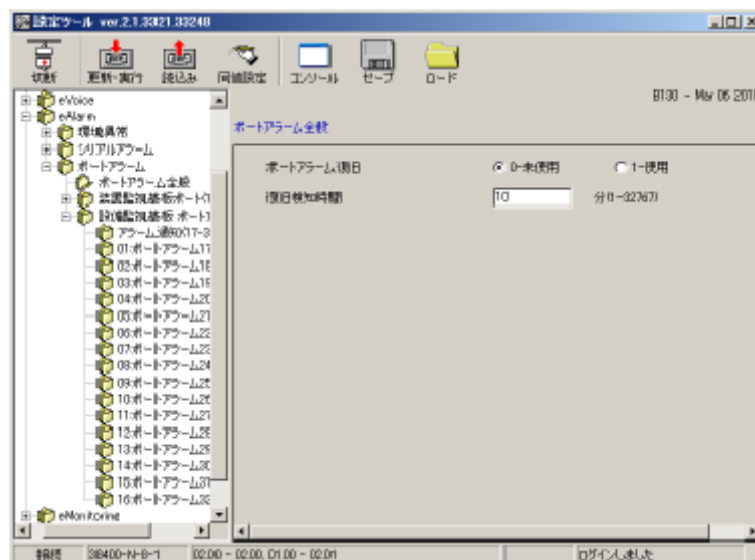


4.26 eAlarm-ポートアラーム 全般

ポートアラーム復旧 0-未使用
1-使用
(工場設定:0-未使用)

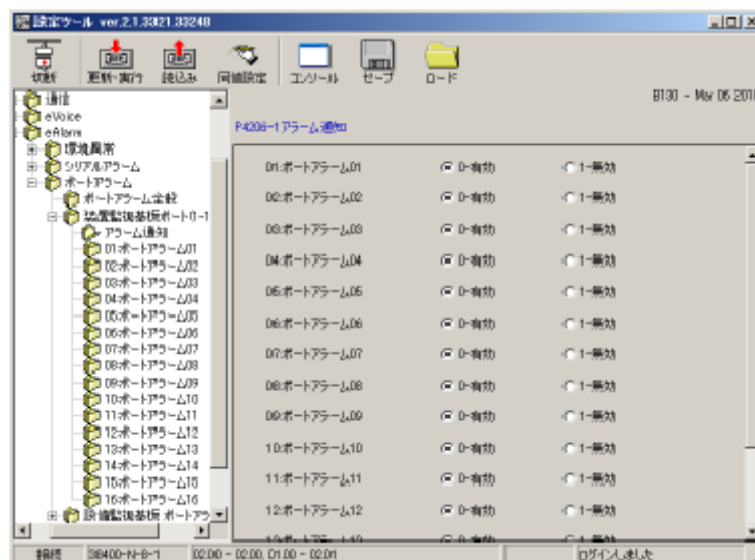
復旧検知時間は、4.28項で復旧検知対象が「1-対象」に指定されている場合に機能が有効です。

アラーム発報された信号が正常動作に復旧し、なおかつ指定した復旧検知時間を経過した場合に復旧信号を発報します。



4.27 eAlarm-装置監視基板ポートアラーム通知

ポートアラーム01番～16番までの0-有効/1-無効の設定を行います。
(工場設定:0-有効)

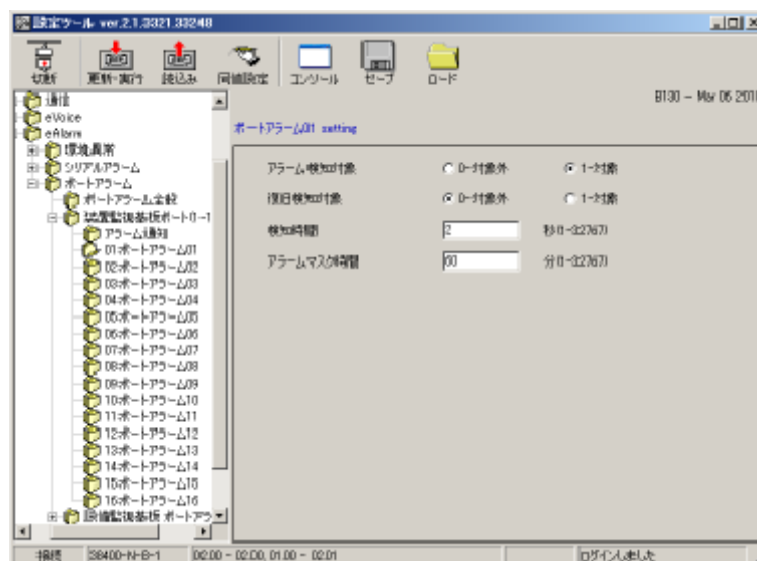


4.28 eAlarm-ポートアラーム 01-64

主制御装置のポートアラーム01番～16番までのアラーム検知させる条件を設定します。

(工場設定)

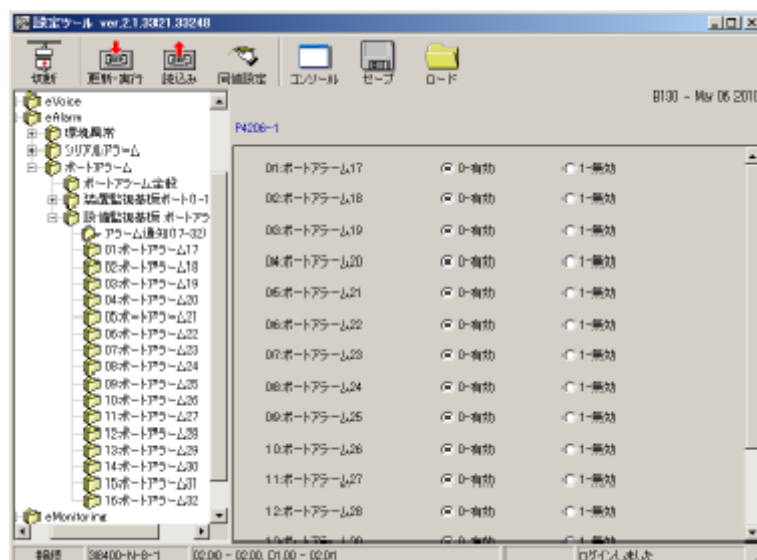
アラーム検知対象	1-対象
復旧検知対象	0-対象外
検知時間	2秒
アラームマスク時間	60分



4.29 eAlarm-設備監視基板ポート アラーム通知17-32

ポートアラーム17～32 0-有効
1-無効

(工場設定:0-有効)

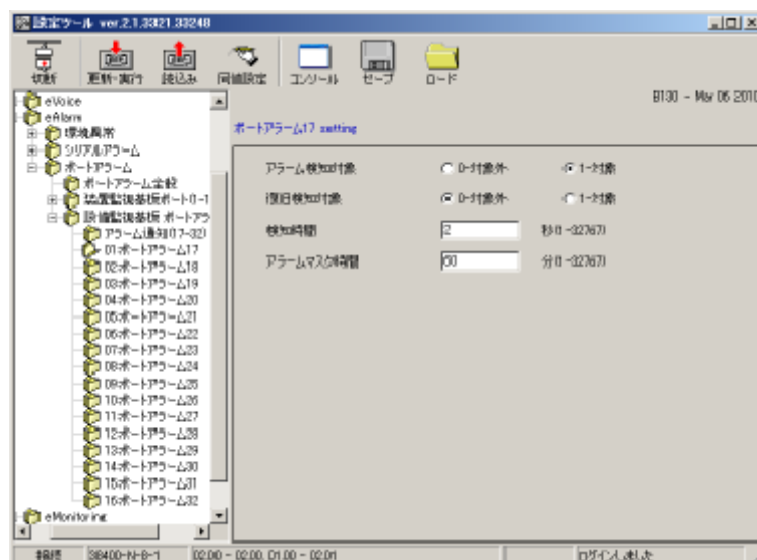


4.30 eAlarm-設備監視基板ポート アラーム通知17-32

従制御装置のポートアラーム17番～32番までのアラーム検知させる条件を設定します。

(工場設定)

アラーム検知対象	1-対象
復旧検知対象	0-対象外
検知時間	2秒
アラームマスク時間	60分



4.3.1 eMonitoring-保守モード

主制御装置の基板上的ボタンもしくは外付け保守スイッチの設定を行います。

(工場設定)

保守モード 1-使用

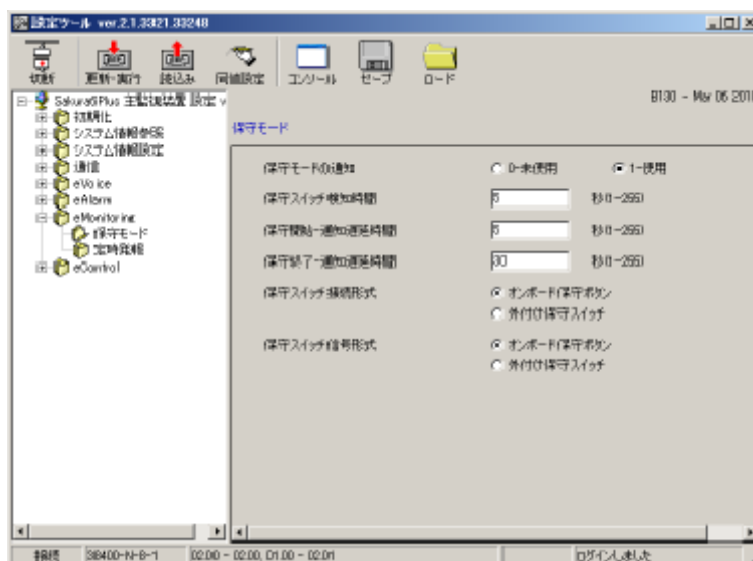
保守スイッチ検知時間 5秒

保守開始-通知遅延時間 5秒

保守終了-通知遅延時間 30秒

保守スイッチ接続形式 オンボード保守ボタン

保守スイッチ信号形式 オンボード保守ボタン



4.3.2 eMonitoring-定時発報

詳細設定

(工場設定)

定時発報の通知 0-未使用

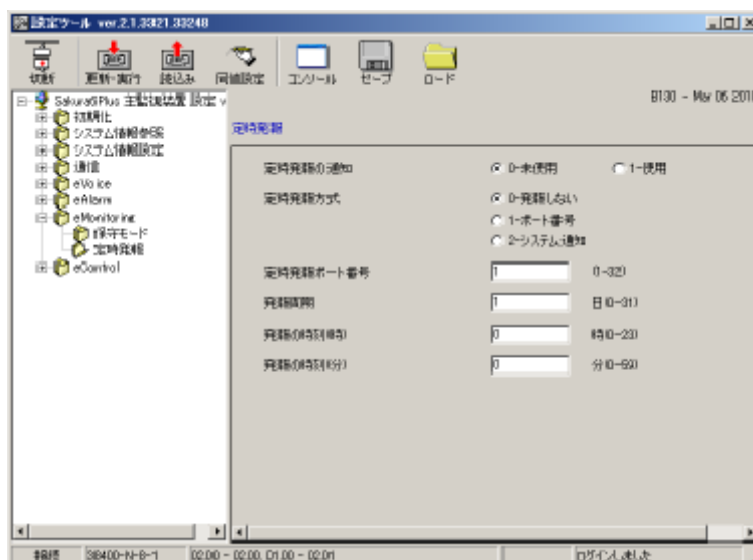
定時発報方式 0-発報しない

定時発報ポート番号 1

発報周期 1

発報時刻(時) 0

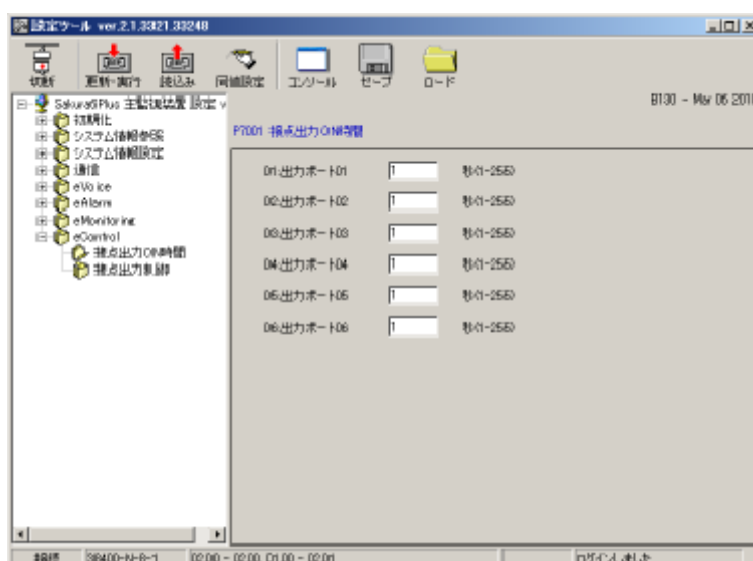
発報時刻(分) 0



4.3.3 eControl-接点出力ON時間

主制御装置のリレー接点出力の動作時間を設定します。

配線・接続方法に関しましては、取り扱い説明書をご参照下さい。



4.3.4 eControl-接点出力制御

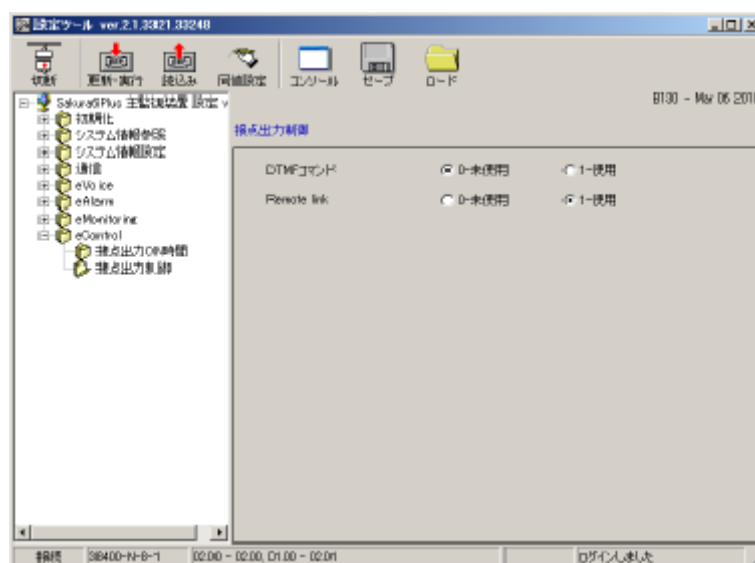
(工場設定)

DTMFコマンド 0-未使用

Remote link 1-使用

コールセンターよりDTMFコマンドを使用して接点出力を行う場合は、1-使用に変更下さい。

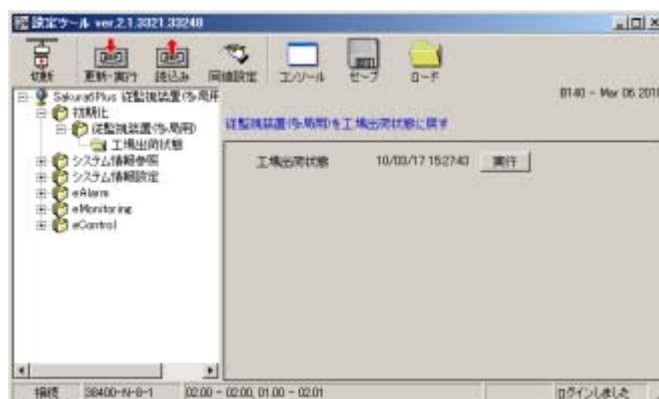
保守PCから遠隔操作により接点出力を行う場合は、1-使用にして下さい。



5. Sakura6 Plus 従監視装置(多局用)

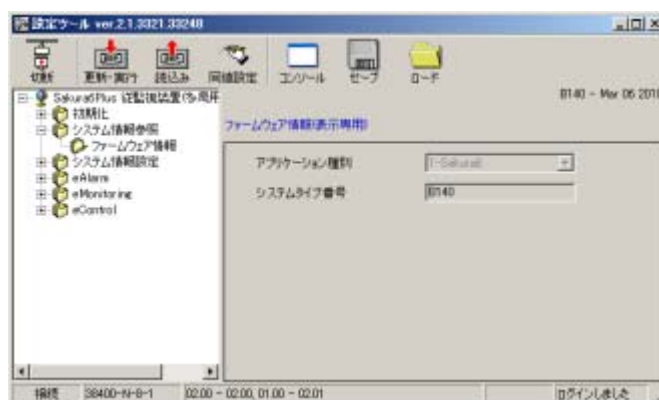
5.1 初期化(マルチブックス)

パラメータを工場出荷時へ戻す際には
を選択して「実行」ボタンを選択すると工場出荷時の
パラメータに変更されます。



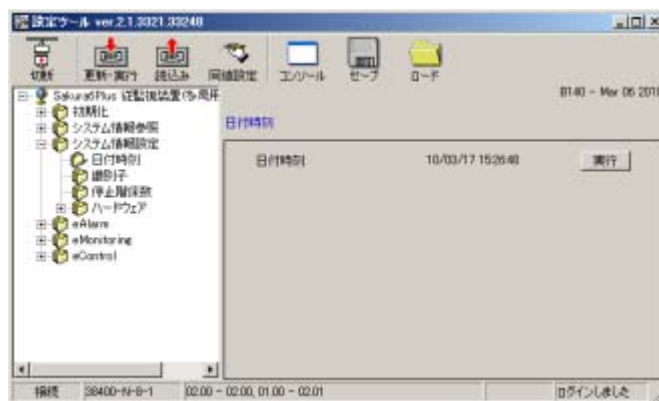
5.2 ファームウェア情報

選択するとアプリケーションの種別やシステム
タイプ番号を表示します。
(変更不可)



5.3 日付時刻(マルチブックス)

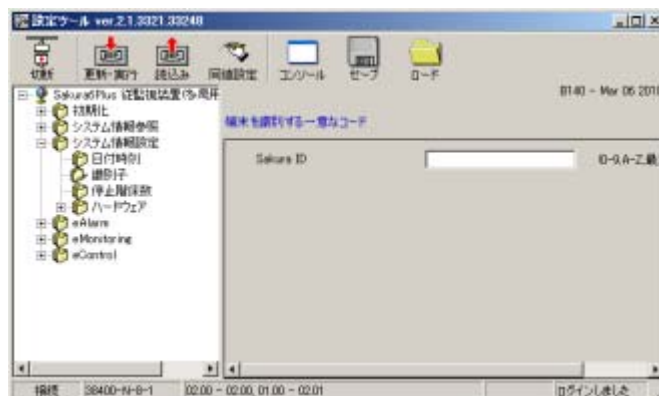
Sakura6 Plusに設定された時刻が表示されま
す。実行を押すとPCの時刻がSakura6 Plusへ
修正され、時刻を補正します。



5.4 識別子(マルチブックス)

SakuraID (0-9、A-Z 最大16文字)

SakuraIDは、利用者が任意に設定できる、本
装置の識別番号です。コールセンター側受信装
置のデータ登録の際に付与されるSakuraIDと番
号が一致する様に設定下さい。



注意

(主監視装置と全く同じSakuraIDにする事は出
来ません。別のIDに設定下さい)

5.5 停止階床数(マルチブックス)

各号機エレベーター仕様の停止階床数を設定して下さい。



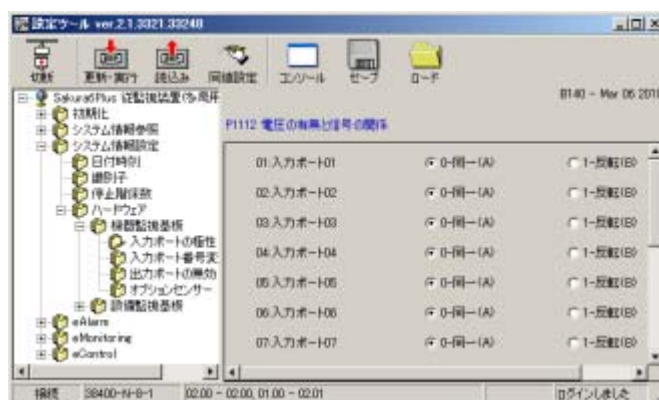
5.6 マルチブックス

機器監視基板-入力ポートの極性
(工場設定:01~16全て 0-同一(A))

入力ポート01~16までに接続される監視信号の極性を設定します。

- | | |
|---------|-----------|
| 0-同一(A) | N. O.(A接) |
| 1-反転(B) | N. C.(B接) |

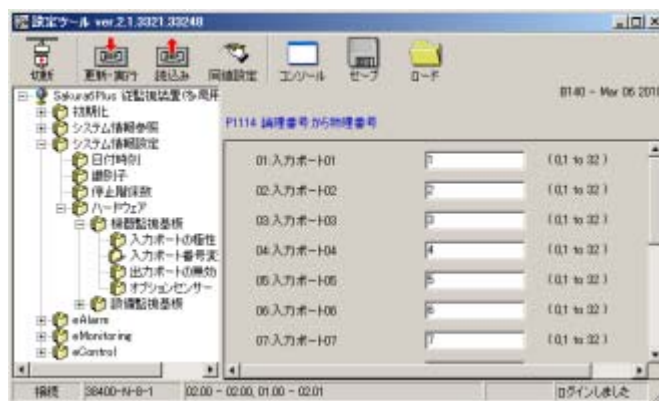
変更したら必ず、更新・実行ボタンを押して登録して下さい。



5.7 マルチブックス

機器監視基板-入力ポート番号変換
(工場設定:01~16)

マルチブックスモジュールで接続したポートの番号とコールセンター側に発報するアラーム番号を入れ替えることができます。



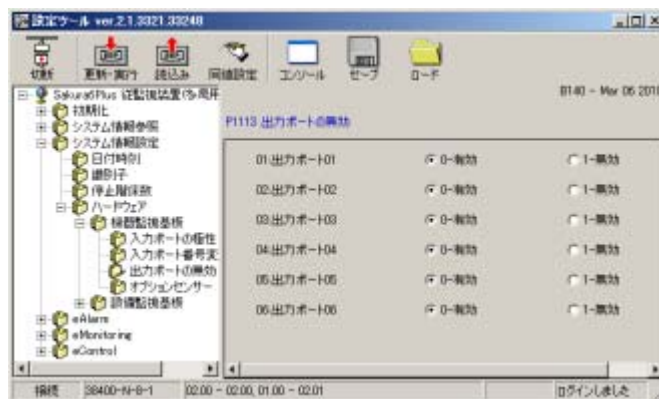
5.8 マルチブックス

機器監視基板-出力ポートの設定

出力ポートの設定を行います。

(工場設定)

出力ポート01~06 0-有効



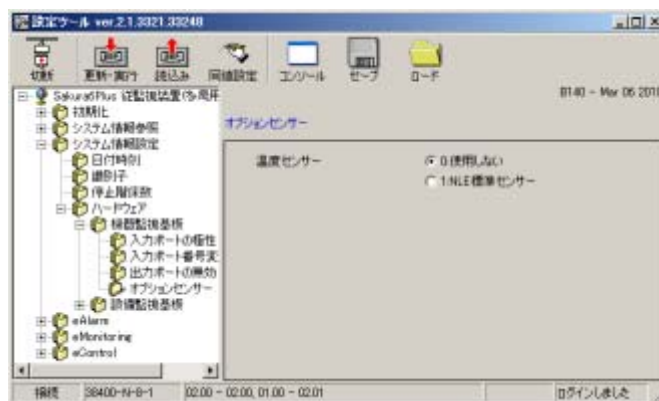
5.9 マルチブックス

機器監視基板-オプションセンサー 温度センサー

(工場設定:0使用しない)

0:使用しない

1:NLE標準センサー



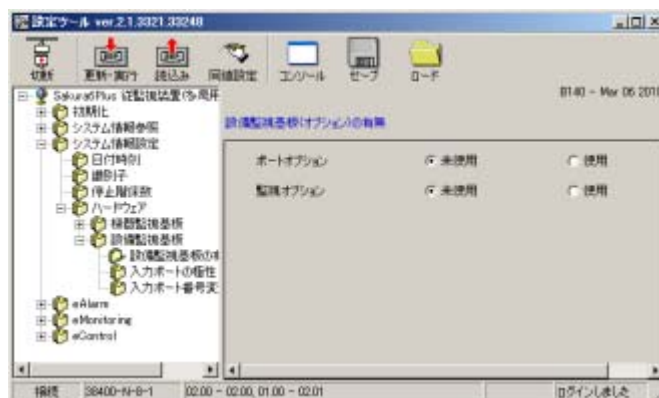
5.10 マルチブックス

設備監視基板-設備監視基板の有無

(工場設定)

ポートオプション - 未使用

監視オプション - 未使用



マルチブックスモジュールにビルディングオプションモジュールを接続する場合は「ポートオプション」、「監視オプション」共に使用側に設定して下さい。

ポートオプション・監視オプションのどちらか片方を使用にする設定はありません。

5.11 マルチブックス

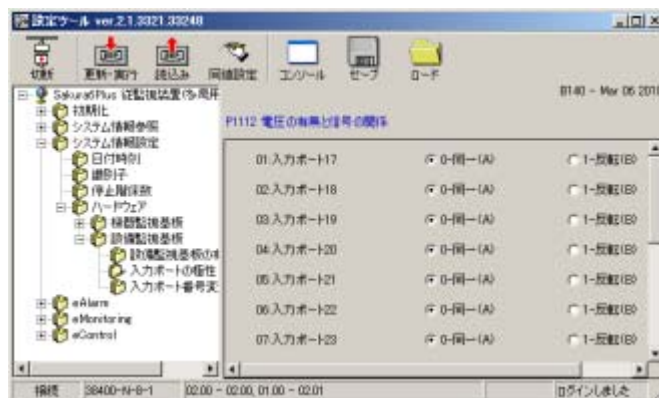
設備監視基板-入力ポートの極性

入力ポート17～32までに接続される監視信号の極性を設定します。

0-同一(A) N. O.(A接)

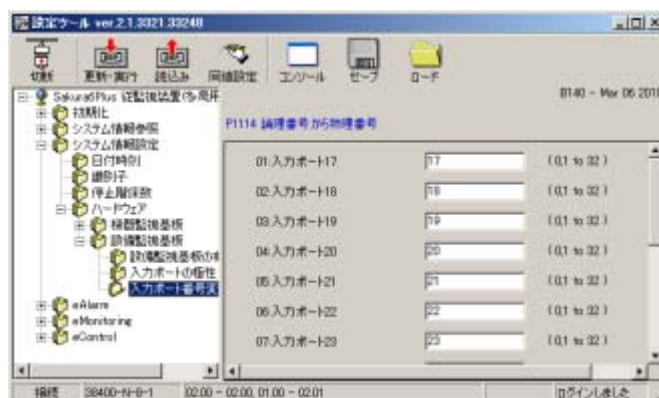
1-反転(B) N. C.(B接)

変更したら必ず、更新・実行ボタンを押して登録して下さい。



5.12 設備監視基板-入力ポートの番号変換

ビルディングオプション(設備監視基板)で接続したポートの番号とコールセンター側に発報するアラーム番号を入れ替えることができます。



5.13 マルチブレイクス

eAlarm- 温度 - 詳細設定

(工場設定)

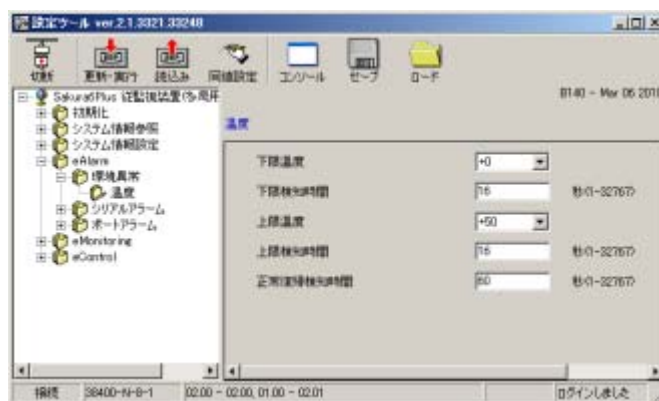
下限温度 +0

下限検知時間 16秒

上限温度 +50

上限検知時間 16秒

正常復帰検知時間 60秒



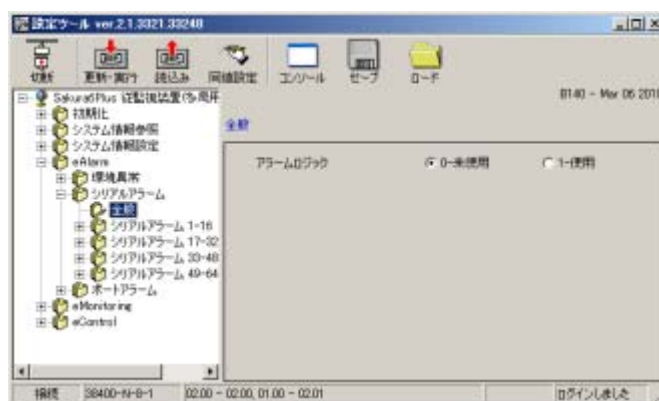
5.14 マルチブレイクス

eAlarm- シリアルアラーム - 全般

シリアルアラーム01番～64番までの
0-未使用/1-使用を設定します。

(工場設定)

アラームロジック 0-未使用



5.15 マルチブレイクス

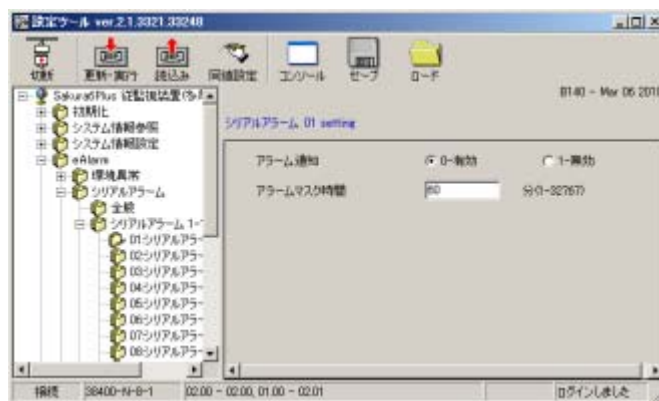
eAlarm- シリアルアラーム01-64

アラーム通知の0-有効/1-無効の設定及びマ
スク時間(分)を設定します。

(工場設定)

アラーム通知 0-有効

アラームマスク時間 60分



5.16 マルチブレイクス

eAlarm- ポートアラーム全般

ポートアラーム復旧 0-未使用

1-使用

(工場設定:0-未使用)

復旧検知時間とは、ポート入力している信号が正
常な状態になってからカウントを始め復旧検知時
間後にコールセンターへ復旧信号を発報します。



5.17 マルチブレイクス

eAlarm-装置監視基板ポートアラーム 通知

(01～16)

ポートアラーム01番～16番までの0-有効/1-無効の設定を行います。

(工場設定:0-有効)



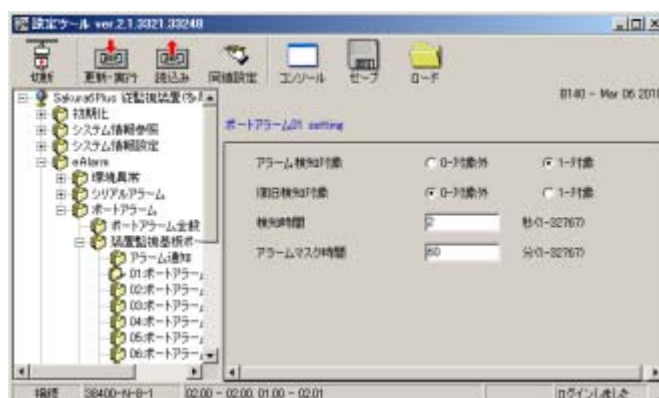
5.18 マルチブレイクス

eAlarm-ポートアラーム01-16

従制御装置のポートアラーム01番～16番までのアラーム検知させる条件を設定します。

(工場設定)

アラーム検知対象	1-対象
復旧検知対象	0-対象外
検知時間	2秒
アラームマスク時間	60分

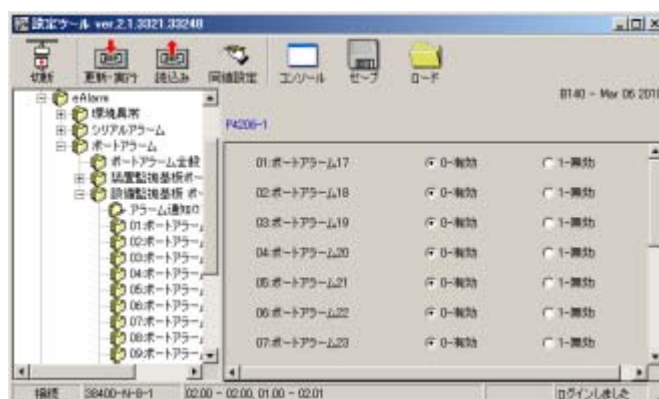


5.19 マルチブレイクス

eAlarm-設備監視基板-ポートアラーム通知

ポートアラーム17番～32番までの0-有効/1-無効の設定を行います。

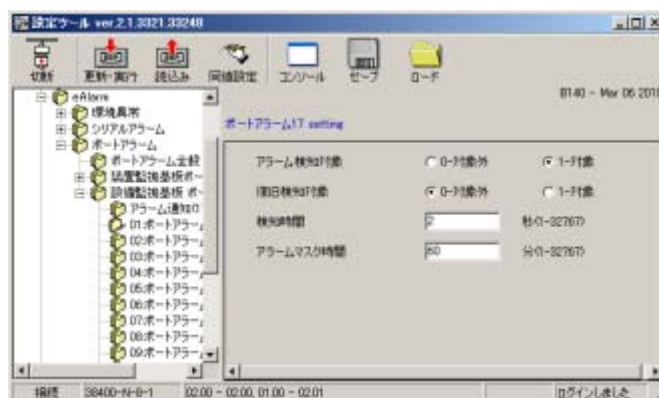
(工場設定:0-有効)



5.20 マルチブレイクス

eAlarm-設備監視基板-ポートアラーム17-32

アラーム検知対象	1-対象
復旧検知対象	0-対象外
検知時間	2秒
アラームマスク時間	60分



5.2.1 マルチブレイクス

eMonitoring-保守モード

従制御装置の基板上的のボタンもしくは外付け保守スイッチの設定を行います。

(工場設定)

保守モード 1-使用

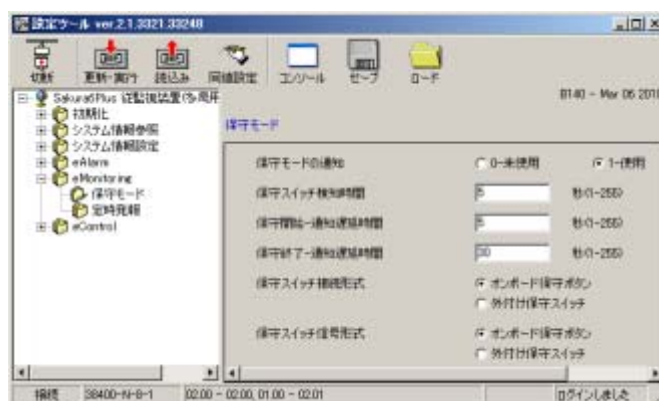
保守スイッチ検知時間 5秒

保守開始-通知遅延時間 5秒

保守終了-通知遅延時間 30秒

保守スイッチ接続形式 オンボード保守ボタン

保守スイッチ信号形式 オンボード保守ボタン



5.2.2 マルチブレイクス

eMonitoring-定時発報

(工場設定)

定時発報の通知 0-未使用

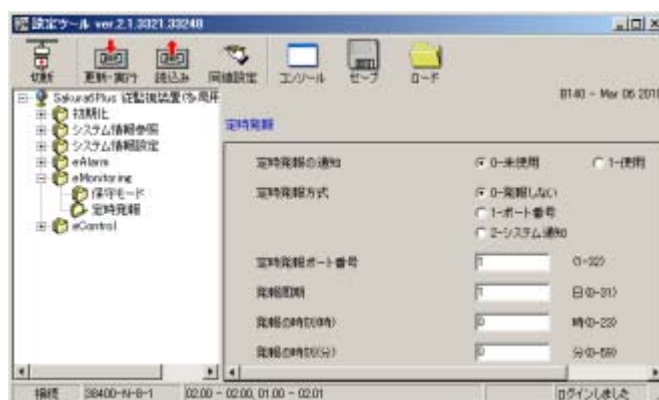
定時発報方式 0-発報しない

定時発報ポート番号 1

発報周期 1

発報時刻(時) 0

発報時刻(分) 0



5.2.3 マルチブレイクス

eMonitoring-接点出力ON時間

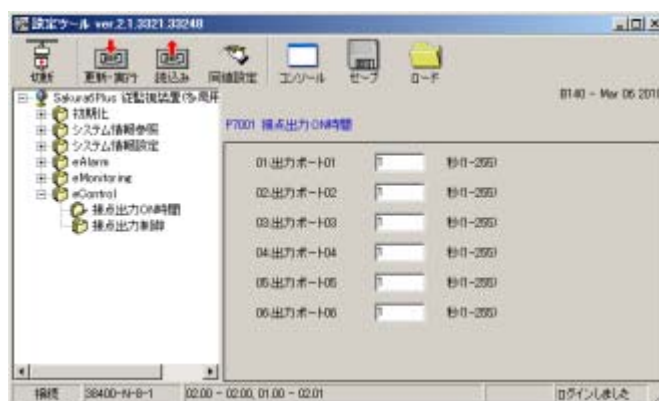
従制御装置のリレー接点出力の動作時間を設定します。

配線・接続方法に関しましては、取り扱い説明書-取付編をご参照下さい。

【配線接続】

出力ポート01・02 ROCSAA基板

出力ポート03・04・05・06 SAPIO基板



5.2.4 eMonitoring-接点出力制御

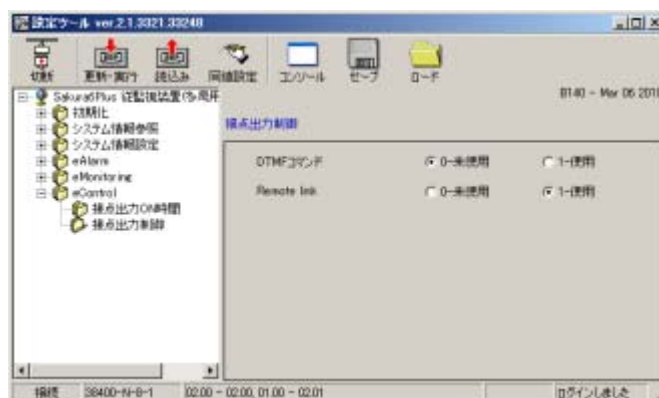
(工場設定)

DTMFコマンド 0-未使用

Remote link 1-使用

DTMFコマンドとは、コールセンターよりDTMFコマンドを使用して接点出力を行う場合は、1-使用に変更して下さい。

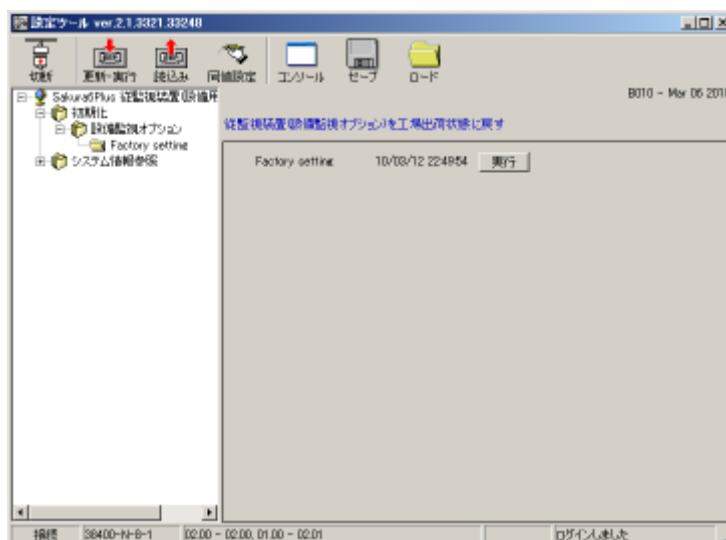
Remote linkとは、保守PCから遠隔操作により接点出力を行う場合は、1-使用にして下さい。



6. Sakura6 Plus設備視装置(設備用)

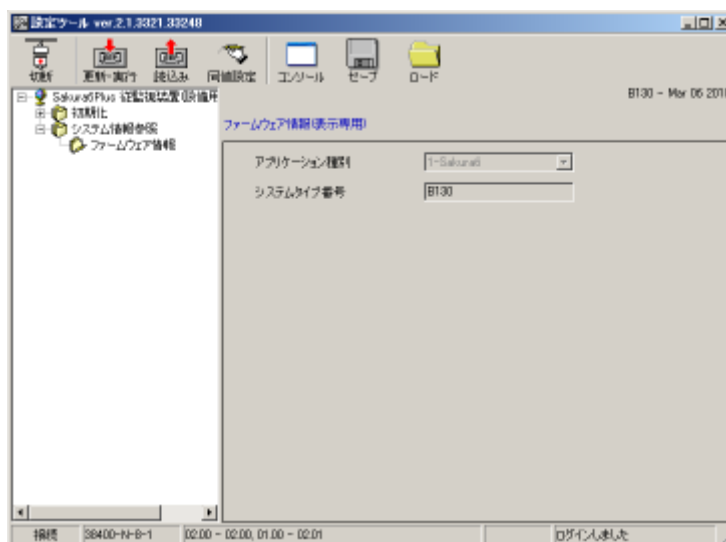
6.1 初期化

パラメータを工場出荷時へ戻す際は「実行」ボタンを選択すると工場出荷時のパラメータに変更されます。



6.2 ファームウェア情報

選択するとアプリケーションの種別やシステムタイプ番号を表示します。
(変更不可)



7. 困ったときは……(お問い合わせする前の事前確認)

	不具合内容	チェック内容	備 考
1	設定ケーブルがない。	量販電気店やパソコンショップなどでご購入下さい。	USB2.0ケーブル (A:ミニBタイプ) ELECOM社製 USB-FSM518 相当
2	Sakura5+及びSakura6で使っていた設定ケーブルは、使用できるか？	Sakura5+ 使用不可。 申し訳ありません、 Sakura6 使用可能です。	
3	インストールができない。	CD-ROMが読み込めるかをご確認ください。CD裏面にキズがありませんか？	
4	USB(mini-B)オスは、どこに挿すのか？	ROCSAA-2基板 CN2コネクターへ挿して下さい。	
5	設定項目が白抜き字になっている為選択できない。	ログインが出来ていません。再度ログインからはじめて下さい。	
6	ログインで機器の選択をする際に該当の機器名がない。	機器(Sakura6)などの定義ファイルがインストールされていません。定義ファイルを設定下さい。	
7	設定した値が登録されない。	更新・実行ボタンを押して登録して下さい。	
8	接続してるが、ログインできない。 (1)	ACアダプターを挿して30秒以内にログインしてください。もし、経過した場合は、電源入り切り下さい。	
9	接続してるが、ログインできない。 (2)	ACアダプターを抜いて電源の入り切りをしてください。また、COMポートの設定をご確認下さい。	
10	接続してるが、再ログインできない。 (3)	ログインが出来ていて一度切断を選択した場合は、ACアダプターの入り切りして下さい。	
11	ロードボタンを押しても何も表示されない。	ロードボタンは、ログイン後に機能します。	